



KONICA MINOLTA

bizhub ファクス連携送信 ユーザーズガイド

2025 年 4 月 第 2.0 版

コニカミノルタジャパン 株式会社



KONICA MINOLTA

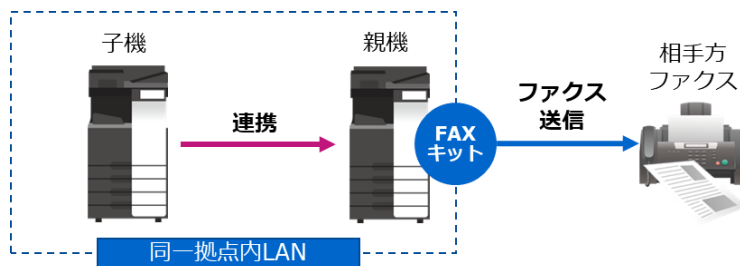
目次

1. はじめに.....	3
2. アプリの入手	5
3. サービスモードでの事前設定.....	5
4. 複合機本体での事前設定	6
5. アプリのインストール.....	14
6. アプリの初回起動確認	15
7. 【親機】アプリ初期設定	17
8. 【子機】アプリ初期設定	23
9. アプリ設定のバックアップ/リストア.....	29
10. <プロフェッショナル版のみ> ファクス連携送信アドレス帳	32
11. その他管理者メニュー	39
12. PC でのアプリロガー括取得	41
13. ファクス送信方法.....	42
14. 留意事項/制限事項	46
15. 付録	49

1. はじめに

1-1.bizhub ファクス連携送信 とは

ファクスモジュールを搭載していない複合機（子機）から、ファクスモジュールを搭載している複合機（親機）を経由してファクスを送信する複合機専用アプリケーションです。



本アプリには 2 つのエディションがあります。

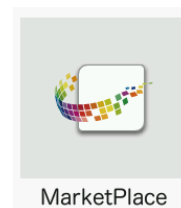
	スタンダード版	プロフェッショナル版
宛先を直接入力して送信	○	○
複数宛先への送信	-	○(※1)
アドレス帳	-	○
親機 1 台あたりの子機台数	1 台	6 台まで
対応機種	bizhub 1i シリーズ(※2)	bizhub i シリーズ全機種(※2)
価格	無償	有償(※2)

(※1) 親機の複合機の管理者設定にて「複数宛先への送信禁止」が「オフ」に設定されている必要があります。

(※2) 詳細はホームページにてご確認ください。

1-2. 使用条件

- 複合機で予め MarketPlace が有効化されていることを前提とします。
有効化されていない（ホーム画面に右図の MarketPlace のアイコンが表示されていない）場合は担当のカスタマーエンジニアまでお問い合わせください。
- ご使用前に本書の「[14. 留意事項/制限事項](#)」をよくお読みください。





KONICA MINOLTA

1-3. 設定の流れ

bizhub ファクス連携送信を使用するための設定の流れです。

		親機	子機
アプリ入手	1	アプリライセンスの入手 (2 章)	
事前設定	2	サービスモードでの事前設定 (3 章)	
	3	複合機本体での事前設定 (4 章)	
アプリインストール	4	アプリのインストール (5 章)	
親機設定	5	アプリの初回起動確認 (6 章)	
		【親機】アプリ初期設定 (7 章)	
子機設定	6		アプリの初回起動確認 (6 章)
			【子機】アプリ初期設定 (8 章)



KONICA MINOLTA

2. アプリの入手

スタンダード版（無償）かプロフェッショナル版（有償）かによって異なります。

2-1. スタンダード版ライセンスの入手

- ① パソコンの Web ブラウザーから以下の MarketPlace サイトにアクセスし、MarketPlace アカウントでログインします。

<https://konicaminoltamarketplace.com/>



事前に MarketPlace のアカウント作成が必要です（無償）。

- ② 上部のツールバーから [Market] をクリックします。
- ③ 「bizhub ファクス連携送信（スタンダード版）」アプリを探し、[詳しく見る] をクリックします。
- ④ 必要な個数を指定し、[今すぐ購入] をクリックします。
- ⑤ 選択しているアプリがショッピングカートに追加されます。
- ⑥ ショッピングカートの中身を確認し、[続ける] をクリックします。
- ⑦ 注文内容を確認し、[注文する] をクリックします。
- ⑧ MarketPlace のアカウントのメールアドレス宛にライセンスが届きます。

2-2. プロフェッショナル版ライセンスの入手

担当営業までご連絡ください。購入完了後、ライセンスがメールにて届きます。

3. サービスモードでの事前設定

本アプリを動作させるためには、予めサービスモードでの設定変更が必要です。

担当のカスタマーエンジニアまでお問い合わせください。

4. 複合機本体での事前設定

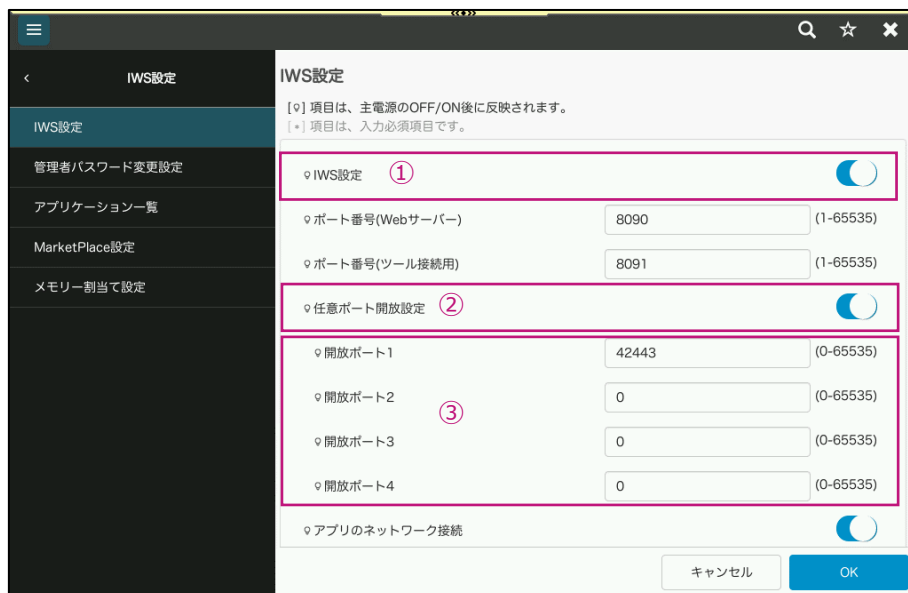
本アプリを動作させる上で必要となる複合機本体の設定を行います。

4-1.IWS の設定

複合機の IWS 設定を行います。

[設定メニュー] - [管理者] - [ネットワーク] - [IWS 設定]

	設定	説明
①	IWS 設定	オンであることを確認します。(初期値：オン)
②	任意ポート開放設定	オンに設定します。(初期値：オフ)
③	開放ポート 1～4	開放ポート 1～4 のいずれか空いているところを「42443」に設定します。それ以外は、使用していない場合「0」に設定します。

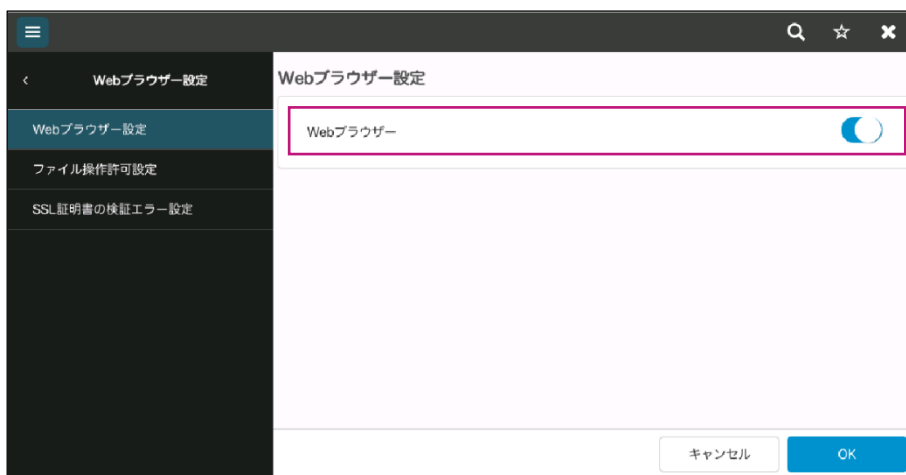


⚠ ②③の項目が表示されていない場合、3章「サービスモードでの事前設定」が完了していません。担当のカスタマーエンジニアまでお問い合わせください。

4-2.Web ブラウザーの設定

複合機の Web ブラウザー機能がオンになっているか確認します。(初期値：オン)

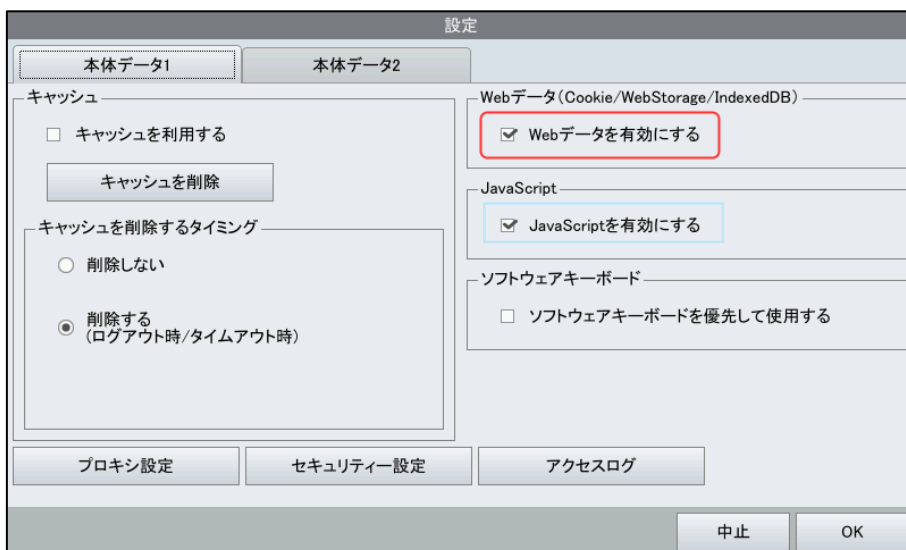
[設定メニュー] - [管理者] - [ネットワーク] - [Web ブラウザー設定]



4-3. Web データ/JavaScript の有効化

複合機の Web ブラウザーの [Web データを有効にする] と [JavaScript を有効にする] の設定がオンになっているか確認します。(初期値：オン)

[トップメニュー] - [Web ブラウザー] - [メニュー] - [設定]



4-4. プロキシの設定

必要に応じて、複合機の Web ブラウザーのプロキシ設定を行います。

[トップメニュー] - [Web ブラウザー] - [メニュー] - [設定] - [プロキシ設定]

	表示内容	説明
①	プロキシを使用する	お使いの環境でプロキシを導入している場合はオンにします。
②	プロキシサーバー設定	お使いの環境に応じてプロキシサーバーの設定を行います。



KONICA MINOLTA

4-5. Web ブラウザーのセキュリティ設定

複合機の Web ブラウザーのセキュリティレベルの設定を確認します。

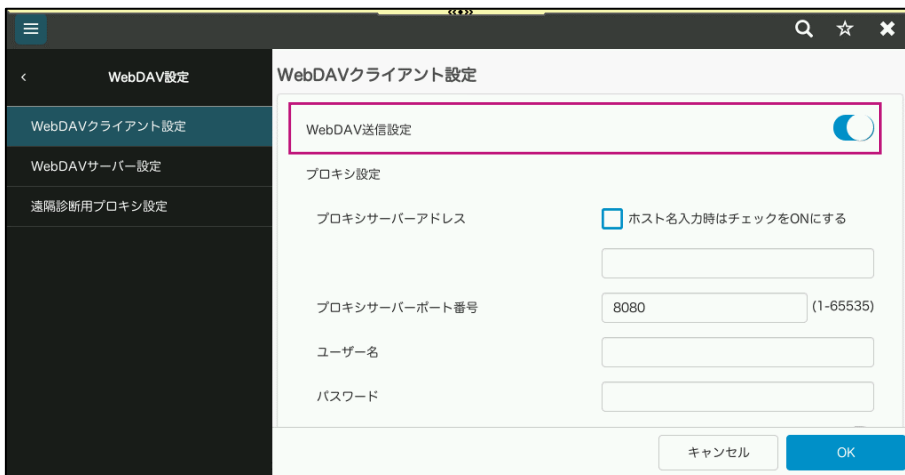
最低・最高のどちらも TLS1.3 もしくは TLS1.2 に設定されていることを確認します。

[トップメニュー] - [Web ブラウザー] - [メニュー] - [設定] - [セキュリティ設定]

4-6. WebDAV クライアント設定

WebDAV クライアント設定にて、WebDAV 送信設定がオンになっているか確認します。(初期値：オン)

[設定メニュー] - [管理者] - [ネットワーク] - [WebDAV 設定] - [WebDAV クライアント設定]



WebDAV送信設定 ☒

プロキシ設定

プロキシサーバーアドレス ☐ ホスト名入力時はチェックをONにする

プロキシサーバーポート番号 8080 (1-65535)

ユーザー名

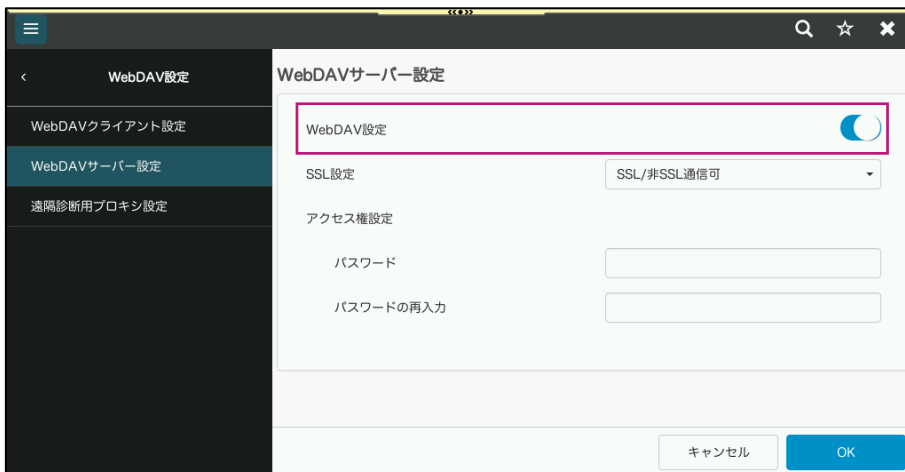
パスワード

キャンセル OK

4-7. WebDAV サーバー設定

WebDAV サーバー設定にて、WebDAV 設定がオンになっているか確認します。(初期値：オン)

[設定メニュー] - [管理者] - [ネットワーク] - [WebDAV 設定] - [WebDAV サーバー設定]



WebDAV設定 ☒

SSL設定 SSL/非SSL通信可

アクセス権設定

パスワード

パスワードの再入力

キャンセル OK

4-8. 時刻自動補正設定（推奨）

親機と子機の時刻を確実に合わせるため、時刻を自動補正するよう設定します。(推奨設定)

[設定メニュー] - [管理者] - [メンテナンス] - [日時設定] - [時刻補正設定]

	設定項目	説明
①	時刻補正設定	オンにします。(初期値：オフ)
②	NTP サーバーアドレス	自社環境のものか、公開 NTP サーバーなどを設定します。IP アドレスではなくホスト名で設定する場合は [ホスト名入力時はチェックを ON にする] にチェックを入れます。



KONICA MINOLTA

③	自動時刻補正	オンにします。(初期値：オフ)
④	ポーリング間隔	任意のポーリング間隔（自動時刻補正を行う間隔）を設定します。(初期値：24 時間)

4-9. 日時設定

日付と時刻を確認し、必要があれば変更します。タイムゾーンは +9:00 に設定します。



親機と子機の時刻は必ず合わせてください。

[設定メニュー] - [管理者] - [メンテナンス] - [日時設定] - [手動設定]

4-10. システムオートリセット設定（推奨）

システムオートリセットを 2 分に変更します。(推奨設定)

[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [リセット設定] - [システムオートリセット]



システムオートリセットは、複合機を無操作で一定時間が経過するとデフォルト画面



KONICA MINOLTA

に戻す機能です。初期値は 1 分ですが、本アプリでファクス送信後、送信結果画面が表示される前にシステムオートリセットがかかることを避けるため、2 分に変更することを推奨します。

ただし、ユーザー認証/部門管理環境下でシステムオートリセットを2分に設定すると、その分自動ログアウトまでの時間も伸びるリスクがあるため、必須ではありません。

	設定項目	説明
①	システムオートリセット機能	オンに設定します。(初期値：オン)
②	システムオートリセット時間	2 分に設定します。(初期値：1 分) ※推奨値

4-11. 認証指定なし印刷設定

※複合機でユーザー認証/部門管理を行っている場合のみ設定が必要な項目です。

本アプリのレポートを出力するため、ユーザー認証/部門管理環境下では認証指定なし印刷を許可します。

[設定メニュー] - [管理者設定] - [ユーザー認証/部門管理] - [認証指定なし印刷]

	設定項目	説明
①	認証指定なし印刷	[カラー・ブラック許可]、もしくは [ブラックのみ許可] に設定します。(初期値：禁止)
②	IP 許可設定	オンにします。(初期値：オフ)
③	IP アドレス 範囲	以下を追加します。 127.0.0.1 - 127.0.0.1



KONICA MINOLTA

4-12. 認証なしジョブ即時印刷設定

※複合機で認証&プリントをオンにしている場合のみ設定が必要な項目です。

本アプリのレポートを出力するため、認証&プリント環境下では即時印刷を許可します。

[設定メニュー] - [管理者設定] - [ユーザー認証/部門管理] - [ユーザー認証設定] - [管理設定]

	設定項目	説明
①	認証なし/パブリックユーザー ジョブ	[即時印刷] に設定します。(初期値：即時印刷)

4-13. 【親機】システムアカウントの権限設定

※複合機でユーザー認証/部門管理を行っており、本アプリでのファクス送信操作等にシステムアカウントを用いる場合のみ設定が必要な項目です。

親機に登録されている本アプリのシステムアカウント（本アプリでのファクス送信操作、ファームウェアの状態確認等に使用する複合機のユーザー）に対して [ファクス操作] を許可します。

＜ユーザーの権限設定＞

[設定メニュー] - [管理者] - [ユーザー認証/部門管理] - [ユーザー認証設定] - [ユーザー登録]

	設定項目	説明
①	ファクス操作	[カラー・ブラック許可] もしくは [ブラックのみ許可]に設定します。(初期値：カラー・ブラック許可)

＜システムアカウントとしてパブリックユーザーを使用する場合の権限設定＞

[設定メニュー] - [管理者] - [ユーザー認証/部門管理] - [ユーザー認証設定] - [パブリックユーザー認証設定]

	設定項目	説明
①	ファクス操作	[カラー・ブラック許可] もしくは [ブラックのみ許可]に設定します。(初期値：カラー・ブラック許可)

＜部門の権限設定＞

[設定メニュー] - [管理者] - [ユーザー認証/部門管理] - [部門管理設定] - [部門登録]

	設定項目	説明
①	ファクス操作	[カラー・ブラック許可] もしくは [ブラックのみ許可]に設定します。(初期値：カラー・ブラック許可)

4-14. 一般認証ユーザーの権限設定

※複合機でユーザー認証/部門管理を行っている場合のみ設定が必要な項目です。



KONICA MINOLTA

ユーザー認証や部門管理を行っている場合、本アプリを使用してファクスを送信するユーザーや部門では [スキャン操作] を許可します。

<ユーザーの権限設定>

[設定メニュー] - [管理者] - [ユーザー認証/部門管理] - [ユーザー認証設定] - [ユーザー登録]

	設定項目	説明
①	スキャン操作	[カラー・ブラック許可] もしくは [ブラックのみ許可]に設定します。(初期値：カラー・ブラック許可)

<パブリックユーザーの権限設定> ※パブリックユーザーで本アプリでのファクス送信を行う場合のみ

[設定メニュー] - [管理者] - [ユーザー認証/部門管理] - [ユーザー認証設定] - [パブリックユーザー認証設定]

	設定項目	説明
①	スキャン操作	[カラー・ブラック許可] もしくは [ブラックのみ許可]に設定します。(初期値：カラー・ブラック許可)

<部門の権限設定>

[設定メニュー] - [管理者] - [ユーザー認証/部門管理] - [部門管理設定] - [部門登録]

	設定項目	説明
①	スキャン操作	[カラー・ブラック許可] もしくは [ブラックのみ許可]に設定します。(初期値：カラー・ブラック許可)

4-15. 【親機】PBX 接続設定

※親機を PBX に接続している場合に、親機でのみ設定が必要な項目です。

PBX 環境で本アプリを使用する場合は、親機の複合機へ予め外線番号を設定します。

[設定メニュー] - [管理者] - [ファクス設定] - [機能設定] - [PBX 接続設定]

	設定項目	説明
①	PBX 接続設定	PBX 環境で使う場合は、オンにします。(初期値：オフ)
②	外線番号	外線番号を入力します (半角数字 4 文字以内)。本アプリからファクスを送信する際に [外線使用] をオンにすると、ここで設定した外線番号を付加して送信します。

4-16. 【親機】外部 TEL 使用中のファクス使用禁止設定

※親機の TEL ポートに電話機が接続されている場合に、親機でのみ設定が必要な項目です。

TEL ポートに接続されている電話機が使用中のときにファクスの使用を禁止します。

[設定メニュー] - [管理者] - [ファクス設定] - [機能設定] - [機能 ON/OFF 設定]

	設定項目	説明
--	------	----



KONICA MINOLTA

①	外部 TEL 使用中のファクス使用を禁止する	TEL ポートに接続されている電話機が使用中のときにファクスの使用を禁止する場合は、オンにします。(初期値：オン)
---	------------------------	---

4-17. 【親機】複数宛先の選択設定

[設定メニュー] - [管理者] - [セキュリティ] - [ユーザー操作禁止設定]

	設定項目	説明
①	複数宛先の選択	<p>本アプリで「複数宛先タブ」および「グループ宛先」の機能を使用する場合は、親機にて「複数宛先の選択」が「許可」に設定されている必要があります。</p> <p>※本設定を許可した場合、親機の複合機本体のファクス機能を使ってファクス送信する場合も複数宛先の選択が可能になります。本設定は、宛先の誤選択による誤送信のリスクを下げるために初期値は「禁止」に設定されております。「許可」に変更する場合は、誤送信リスクが高まることをご理解の上、設定ください。</p>

5. アプリのインストール

bizhub ファクス連携送信アプリを Konica Minolta MarketPlace よりインストールします。
手順は以下のリンクをご参照ください。

<PC 等で MarketPlace サイトにアクセスしアプリをインストールする方法>

<https://help.konicaminoltamarketplace.com/nib/ja/installing/manage-licenses/>

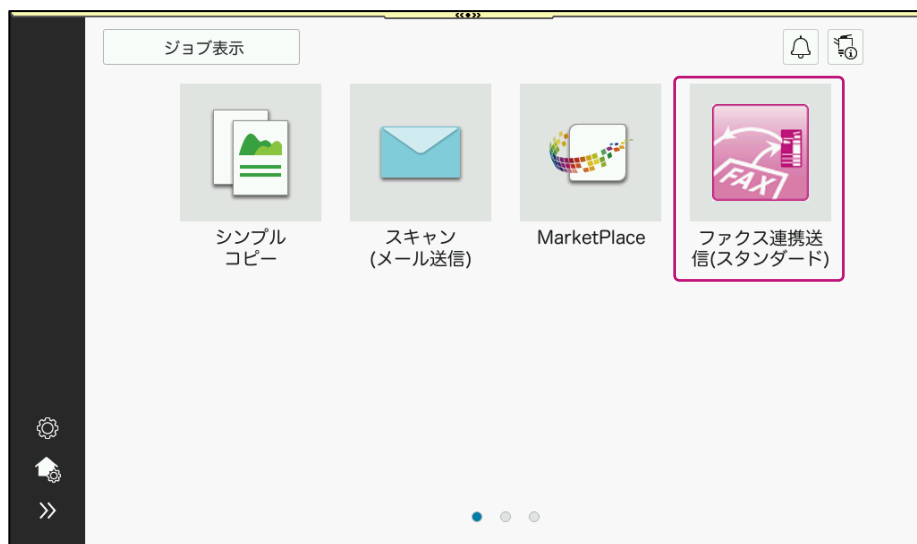
<複合機操作パネル上で MarketPlace を開きアプリをインストールする方法>

<https://help.konicaminoltamarketplace.com/nib/ja/installing/using-at-mfp/>

6. アプリの初回起動確認

6-1.bizhub ファクス連携送信 アプリの起動

複合機のホーム画面、または [MarketPlace] メニュー内から [ファクス連携送信(〇〇〇)] を選択します。



i 複合機上に表示されるアプリ名は下記の3種類があります。

エディション	スタンダード版	プロフェッショナル版	
課金方式	-	月額型	期間型
複合機上での表示名	ファクス連携送信 (スタンダード)	ファクス連携送信 (プロ)	ファクス連携送信 (プロ yyyy) ※yyyy=リリース年 (「2025」など)
アイコン		 ※上部に「Pro」と記載されます	 ※上部にリリース年が記載されます



KONICA MINOLTA

6-2. アプリ初回起動確認画面

初めてアプリを起動すると、初回起動確認画面が表示されます。

- ① お使いのエディションに沿った利用規約のQRコードおよびURLが表示されます。お手持ちのスマートフォン/タブレットやパソコンからアクセスし、利用規約をよくお読みください。利用規約に同意される場合は [上記に同意する] にチェックを入れ、複合機の管理者パスワードを入力して [アプリ利用開始] をタップします。

i 利用規約に同意されない場合、本アプリは利用できません。

i **本操作は必ず本アプリを使用するユーザーの管理者の方が行ってください。**

アプリのメイン画面（ファクス送信画面）が表示されます。

※エディションによって画面が異なります。以下はスタンダード版の例です。

7. 【親機】アプリ初期設定

親機（ファクスモジュールを搭載している複合機）の初期設定を行います。

7-1. 【親機】管理者設定へのログイン

本アプリのファクス送信画面の「管理者設定」ボタンを押すと管理者ログイン画面に遷移します。複合機の管理者パスワードを入力してログインします。



7-2. 【親機】管理者設定メニュー

管理者設定メニューが表示されます。

	表示内容	説明
①	管理者設定	本アプリの管理者設定画面を開きます。（必須設定）
②	デフォルト送信設定	本アプリからファクス送信する際のデフォルト送信設定の画面を開きます。（任意設定）
③	新規ジョブ受付／停止切替	新規ジョブ受付／停止切替画面を開きます。 ※本アプリの管理者設定が完了するまでは表示されません。
④	ファクス連携送信アドレス帳	【プロフェッショナル版のみ】 ファクス連携送信アドレス帳メニューを開きます。
⑤	ジョブ表示（管理者用）	本機から登録した全ユーザーのジョブを表示します。
⑥	設定内容印刷	管理者設定およびデフォルト送信設定の内容を印刷します。
⑦	初期化	アプリの初期化画面を表示します。
⑧	アプリログ	アプリログを表示します。
⑨	親機機能疎通確認	本アプリにおいて、親機の複合機は、本アプリを使ってファクスの送信先を指定する「子機機能」と、子機から受け取ったデータを相手先へファクス送信する「親機機能」の両方を1台の中で併せ持ちます。本メニューでは、子機機能から親機機能への疎通確認を行います。



KONICA MINOLTA

⑩	全ジョブ表示（管理者用）	親機配下の子機を含む全ジョブを表示します。 （本メニューは、管理者設定で親機機能有効をオンにした後表示されます。） ※本アプリの管理者設定が完了するまでは表示されません。
---	--------------	---

bizhub ファクス連携送信
管理者ログアウト

管理者設定メニュー

① 管理者設定

※管理者設定画面を表示します

② デフォルト送信設定

※デフォルト送信設定画面を表示します
管理者設定登録後に実行してください

③ 新規ジョブ受付/停止切替

※新規ジョブ受付/停止切替画面を表示します

④ ファクス連携送信アドレス帳

※ファクス連携送信アドレス帳メニュー画面を表示します

⑤ ジョブ表示（管理者用）

※自機から登録した全ユーザーのジョブを表示します

⑥ 設定内容印刷

※設定内容を印刷します
管理者設定登録後に実行してください

⑦ 初期化

※初期化メニュー画面を表示します

⑧ アプリログ

※アプリログメニュー画面を表示します

— 接続確認

※管理者設定を変更した場合は、複合機再起動後に実施してください

⑨ 親機機能疎通確認

※親機機能との疎通確認を実行します
管理者設定登録後に実行してください

— 詳細状態表示

⑩ 全ジョブ表示（管理者用）

※親機配下の子機を含む全ジョブを表示します

7-3. 【親機】 管理者設定

管理者設定メニューにて [管理者設定] を選択します。

[本アプリのファクス送信画面] – [管理者設定] – [管理者設定]

①②は必須の設定、③以降は任意（必要に応じて設定変更）の設定です。

すべて設定したら下部の [登録] を押すと、登録確認のメッセージの後、印字テストが実行されます。（印字テストに関しては次項をご参照ください。）

	表示内容	説明
①	親機機能設定	<p>本機が親機（ファクスモジュールが搭載されている複合機）の場合はオンにします。</p> <p>※ 運用途中で本設定を切り替える場合、事前に以下のことを確認してください。</p> <p>＜親機→子機へ変更＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自機で送信したジョブに実行中ジョブがないこと ・ 完了ジョブが子機と同期済であること ・ 新規ジョブ受付が停止されていること



KONICA MINOLTA

		<p><子機→親機へ変更></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自機で送信したジョブに実行中ジョブがないこと
②	認証用 PIN コード	<p>半角数字 4 桁の任意の PIN コードを設定します。 (親機・子機で共通の PIN コードを入力する必要があります)</p>
③	認証先/ システムアカウント設定	<p>複合機本体でユーザー認証や部門管理を行っていない場合は「パブリック」と表示されます。その場合、この項目はグレーアウトしますので設定不要です。 ユーザー認証や部門管理を行っている場合、本アプリでのファクス送信操作、ファームウェアの状態確認等に使用するシステムアカウントの情報を設定します。</p>
④	ユーザー認証設定時のパブリック送信許可	<p>複合機でユーザー認証を行っており、かつパブリックユーザーが有効な場合のみ設定できる項目です。パブリックユーザーにファクス送信を許可する場合はオンにします。複合機で認証されたユーザーに対してのみファクス送信を許可する場合はオフにします。 (初期値：オフ)</p>
⑤	レポート印字設定	<p>送信結果レポートの出力設定を行います。 <選択肢> 常時 (常に印刷する) / エラー、およびキャンセル時のみ (ファクス送信失敗とキャンセル時のみ印刷する) / OFF (常に印刷しない) (初期値：エラー、およびキャンセル時のみ)</p>
⑥	RAW ポート番号	<p>本アプリで使用する RAW ポート番号を設定します。 初期値として、複合機で使用可能な RAW ポートの中で一番最後に登録されているポート番号が設定されます。 ※RAW ポートの競合を回避するため、ここで設定したポートは他では使用しないよう運用ください。</p>
⑦	リモート接続用ポート番号	<p>リモートから本アプリにアクセスする際に使用するポート番号です。(初期値：42443) この値は複合機本体のポート開放設定と合わせてください。</p>
⑧	宛先 2 度入力機能有効	<p>ファクス送信時に宛先を 2 度入力させるか設定します。(初期値：オフ)</p>
⑨	同報送信機能	<p>親機複合機の管理者設定内の「複数宛先の選択」の設定値に従い、オン/オフを切り替えます。(「複数宛先の選択」が「禁止 (初期値)」の場合はオフ、「許可」の場合はオン) ※ ここでは、アプリ側に反映された設定値を確認するのみで、設定変更はできません。 ※ 本アプリの同報送信のオン/オフを切り替えたい場合は、親機の複合機本体の管理者設定内にて「複数宛先の選択」の設定を変更してください。ただし、「複数宛先の選択」を許可することはセキュリティ上のリスクが伴いますので、よくご検討の上設定ください。 ※ 複合機本体の管理者設定にて「複数宛先の選択」の設定を変更した場合は、必ず親機/子機でアプリの管理者設定を開いて設定が反映されていることを確認してください。アプリの管理者設定を開かないと、アプリに設定が反映されません。</p>
⑩	デフォルトタブ設定	<p>アプリを開いた際に最初に表示するタブを「デンキー」と「単一宛先」(アドレス帳) から選択できます。(初期値：デンキー)</p>



KONICA MINOLTA

⑪	アプリログレベル	アプリログに出力するログレベルを設定します。 <選択肢> INFO／DEBUG／TARACE (初期値：INFO)
---	----------	---

bizhub ファクス連携送信
管理者ログアウト

管理者設定

※本設定の反映には、複合機の再起動が必要となります
※ファクスモジュールが搭載されている複合機で親機機能を有効にできます

① 親機機能設定
親機機能有効

親機/子機接続 ー 親機への接続情報

親機IPアドレス 127.0.0.1

親機ポート番号 42443

② 認証用PINコード <半角数字 4 桁>

ファクス送信 ー 自機に関する情報

③ 認証先 パブリック

ユーザー名 ※システムアカウントのユーザー名

④ パスワード ※システムアカウントのパスワード

部門名 ※システムアカウントの部門名

部門パスワード ※システムアカウントの部門パスワード

④ ユーザー認証設定時のパブリック送信許可

⑤ レポート印字設定 エラー、およびキャンセル時のみ

⑥ RAWポート番号 9116

⑦ リモート接続用ポート番号 42443

⑧ 宛先2度入力機能有効

⑨ 同報送信機能 許可

⑩ デフォルトタブ設定 テンキー 単一宛先

⑪ アプリログレベル INFO

戻る 登録

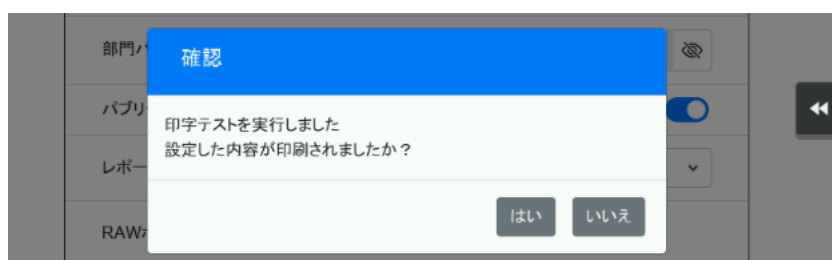
7-4. 【親機】印字テスト

- ① 管理者設定画面にて [登録] ボタンを押すと、登録確認のメッセージの後「印字テストを実行します」というメッセージが表示されます。[はい] を押して印字テストを行います

す。



- ② 「印字テストを実行しました。設定した内容が印刷されましたか？」というメッセージが表示されます。



設定した内容が印字されて紙で出力された場合・・・

→ [はい] を押して管理者設定を保存し、複合機を再起動してください。

紙が出力されなかった場合・・・

→ [いいえ] を押して設定を見直してください。管理者設定は保存されません。

7-5. 【親機】親機機能疎通確認

本アプリの管理者設定メニューにて [親機機能疎通確認] ボタンを押します。

アプリの親機機能との疎通確認が行われますので、正常終了することを確認してください。

【本アプリのファクス送信画面】 - 【管理者設定】 - 【親機機能疎通確認】



7-6. 【親機】デフォルト送信設定（任意）

※親機においてもファクス送信時に本アプリを使用する場合のみ設定してください。

ファクス送信画面の送信設定の初期値を変更することができます。

【本アプリのファクス送信画面】 - 【管理者設定】 - 【デフォルト送信設定】



親機が PBX 配下にある場合で、主に外線（社外）とのファクス送信が多い場合は、「外線使用」を ON にすることをおすすめします。



7-7. 【親機】アプリバックアップ（任意）

アプリの設定情報やアドレス帳などのバックアップを取得することができます。

バックアップを取得しておくことで、複合機の入替えなどが行われた場合にも迅速に設定復旧ができます。

バックアップは PC のブラウザーを使用して本アプリへ接続することで実施できます。

詳しい手順は本書の 9-1 章をご覧ください。

7-8. 【親機】（プロフェッショナル版のみ）アドレス帳登録（任意）

※親機においてもファクス送信時に本アプリを使用する場合のみ設定してください。

アドレス帳機能を使用する場合は、ファクス連携送信アドレス帳へ宛先を登録します。

【本アプリのファクス送信画面】 - 【管理者設定】 - 【ファクス連携送信アドレス帳】

詳しい登録方法は本書の 10 章をご覧ください。

以上で親機の初期設定は完了です。

8. 【子機】 アプリ初期設定

子機（ファクスモジュールを搭載していない複合機）の初期設定を行います。

8-1. 【子機】 管理者設定へのログイン

親機と同様の方法でアプリの管理者設定へログインします。

8-2. 【子機】 管理者設定メニュー

管理者設定メニューが表示されます。

bizhub ファクス連携送信
管理者ログアウト

管理者設定メニュー

① 管理者設定
※管理者設定画面を表示します

② デフォルト送信設定
※デフォルト送信設定画面を表示します
管理者設定登録後に実行してください

③ ファクス連携送信アドレス帳
※ファクス連携送信アドレス帳メニュー画面を表示します

④ ジョブ表示（管理者用）
※自機から登録した全ユーザーのジョブを表示します

⑤ 設定内容印刷
※設定内容を印刷します
管理者設定登録後に実行してください

⑥ 初期化
※初期化メニュー画面を表示します

⑦ アプリログ
※アプリログメニュー画面を表示します

— 接続確認 ※管理者設定を変更した場合は、複合機再起動後に実施してください —

⑧ 親機機能疎通確認
※親機機能との疎通確認を実行します
管理者設定登録後に実行してください

	表示内容	説明
①	管理者設定	本アプリの管理者設定画面を開きます。（必須設定）
②	デフォルト送信設定	本アプリからファクス送信する際のデフォルト送信設定の画面を開きます。（任意設定）
③	ファクス連携送信アドレス帳	【プロフェッショナル版のみ】 ファクス連携送信アドレス帳メニューを開きます。
④	ジョブ表示（管理者用）	本機から登録した全ユーザーのジョブを表示します。
⑤	設定内容印刷	管理者設定およびデフォルト送信設定の内容を印刷します。
⑥	初期化	アプリの初期化画面を表示します。
⑦	アプリログ	アプリログを表示します。
⑧	親機機能疎通確認	親機の複合機にインストールされた本アプリの親機機能との疎通確認を行います。



KONICA MINOLTA

8-3. 【子機】 管理者設定

本アプリを開き、管理者設定メニューにて [管理者設定] を選択します。

[本アプリのファクス送信画面] - [管理者設定] - [管理者設定]

(A)～(C)が必須の設定、(D)以降は任意（必要に応じて設定変更）の項目です。

すべて設定したら下部の [登録] を押すと、登録確認のメッセージの後、印字テストが実行されます。（印字テストに関しては次項をご参照ください。）

bizhub ファクス連携送信

管理者ログアウト

管理者設定

※本設定の反映には、複合機の再起動が必要となります
※ファクスモジュールが搭載されている複合機で親機機能を有効にできます

• 管理者設定を登録してください

親機機能設定

親機機能有効

親機機能は無効のまま

親機/子機接続

親機への接続情報

(A) 親機IPアドレス

※親機のIPアドレスを設定

半角英数字およびドットのみ、7～15文字で入力してください

(B) 親機ポート番号

※親機のポート番号を設定

(1-65535) の範囲で入力してください

(C) 認証用PINコード

※親機と子機で同じPINコードを設定

半角数字4文字で入力してください

ファクス送信

自機に関する情報

(D) 認証先

パブリック

ユーザー名

※システムアカウントのユーザー名

(E) パスワード

※システムアカウントのパスワード

部門名

※システムアカウントの部門名

部門パスワード

※システムアカウントの部門パスワード

(F) ユーザー認証設定時のパブリック送信許可

(G) レポート印字設定

エラー、およびキャンセル時のみ

(H) RAWポート番号

9116

(I) リモート接続用ポート番号

42443

(J) 宛先2度入力機能有効

(K) 同報送信機能

許可

(L) デフォルトタブ設定

テンキー

単一宛先

アプリログレベル

INFO

戻る

登録



KONICA MINOLTA

	表示内容	説明
(A)	親機 IP アドレス	親機の複合機の IP アドレスを指定します。
(B)	親機ポート番号	親機の本アプリの管理者設定内の [リモート接続用ポート番号] の値を指定します。 (通常は 42443 を指定します)
(C)	認証用 PIN コード	半角数字 4 桁の任意の PIN コードを設定します。 (親機・子機で共通の PIN コードを入力する必要があります)
(D)	認証先/ システムアカウント設定	複合機本体でユーザー認証や部門管理を行っていない場合は「パブリック」と表示されます。その場合、この項目はグレースアウトしますので設定不要です。 ユーザー認証や部門管理を行っている場合、本アプリでのファクス送信操作、ファームウェアの状態確認等に使用するシステムアカウントの情報を設定します。
(E)	ユーザー認証設定時のパブリック送信許可	複合機でユーザー認証を行っており、かつパブリックユーザーが有効な場合のみ設定できる項目です。 パブリックユーザーにファクス送信を許可する場合はオンにします。複合機で認証されたユーザーに対してのみファクス送信を許可する場合はオフにします。 (初期値：オフ)
(F)	レポート印字設定	送信結果レポートの出力設定を行います。 <選択肢> 常時（常に印刷する）／エラー、およびキャンセル時のみ（ファクス送信失敗とキャンセル時のみ印刷する）／OFF（常に印刷しない） (初期値：エラー、およびキャンセル時のみ)
(G)	RAW ポート番号	本アプリで使用する RAW ポート番号を設定します。 初期値として、複合機で使用可能な RAW ポートの中で一番最後に登録されているポート番号が設定されます。 ※RAW ポートの競合を回避するため、ここで設定したポートは他では使用しないよう運用ください。
(H)	リモート接続用ポート番号	リモートから本アプリにアクセスする際に使用するポート番号です。(初期値：42443) この値は複合機本体のポート開放設定と合わせてください。
(I)	宛先 2 度入力機能有効	ファクス送信時に宛先を 2 度入力させるか設定します。(初期値：オフ)
(J)	同報送信機能	親機複合機の管理者設定内の「複数宛先の選択」の設定値に従い、オン／オフを切り替えます。(「複数宛先の選択」が「禁止 (初期値)」の場合はオフ、「許可」の場合はオン) ※ ここでは、アプリ側に反映された設定値を確認するのみで、設定変更はできません。 ※ 本アプリの同報送信のオン／オフを切り替えたい場合は、親機の複合機の管理者設定内にて「複数宛先の選択」の設定を変更してください。ただし、「複数宛先の選択」を許可することはセキュリティ上のリスクが伴いますので、よくご検討の上設定ください。



KONICA MINOLTA

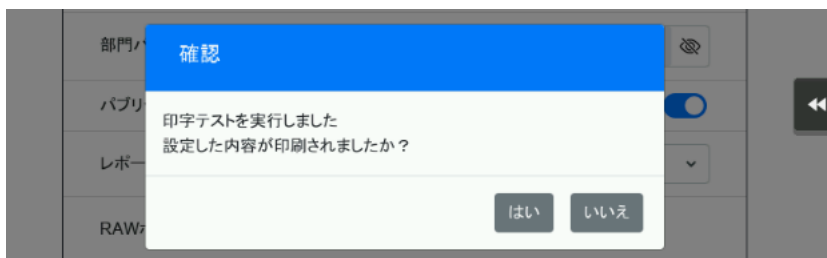
		※ 複合機の管理者設定にて「複数宛先の選択」の設定を変更した場合は、必ず親機／子機でアプリの管理者設定を開いて設定が反映されていることを確認してください。アプリの管理者設定を開かないと、アプリに設定が反映されません。
(K)	デフォルトタブ設定	アプリを開いた際に最初に表示するタブを「テンキー」と「単一宛先」（アドレス帳）から選択できます。（初期値：テンキー）
(L)	アプリログレベル	アプリログに出力するログレベルを設定します。 <選択肢> INFO／DEBUG／TARACE （初期値：INFO）

8-4. 【子機】 印字テスト

- ① 管理者設定画面にて「登録」ボタンを押すと、登録確認のメッセージの後「印字テストを実行します」というメッセージが表示されます。【はい】を押して印字テストを行います。



- ② 「印字テストを実行しました。設定した内容が印刷されましたか？」というメッセージが表示されます。



設定した内容が印字されて紙で出力された場合・・・

→ 【はい】を押して管理者設定を保存し、複合機を再起動してください。

紙が出力されなかった場合・・・

→ 【いいえ】を押して設定を見直してください。管理者設定は保存されません。

8-5.【子機】親機機能疎通確認

本アプリの管理者設定メニューにて [親機機能疎通確認] ボタンを押します。

親機にインストールされたアプリの親機機能との疎通確認が行われますので、正常終了することを確認してください。

[本アプリのファクス送信画面] - [管理者設定] - [親機疎通確認]

bizhub ファクス連携送信 管理者ログアウト

管理者設定メニュー

管理者設定 ※管理者設定画面を表示します

デフォルト送信設定 ※デフォルト送信設定画面を表示します
管理者設定登録後に実行してください

— 接続確認 ※管理者設定を変更した場合は、複合機再起動後に実施してください —

親機機能疎通確認 ※親機機能との疎通確認を実行します
管理者設定登録後に実行してください

8-6.【子機】デフォルト送信設定（任意）

ファクス送信画面の送信設定の初期値を変更することができます。

[本アプリのファクス送信画面] - [管理者設定] - [デフォルト送信設定]

- i** 親機が PBX 配下にある場合で、主に外線（社外）とのファクス送信が多い場合は、「外線使用」を ON にすることをおすすめします。

bizhub ファクス連携送信 管理者ログアウト

デフォルト送信設定

読み込みサイズ A3

読み込み向き ☒ 縦向き ☐ 横向き

送信品質 高速転送

両面設定 ☒ 片面 ☐ 両面

外線使用 ☒

外線設定：海外通信モード ☐

外線設定：V34 ☒

戻る 登録



KONICA MINOLTA

8-7. 【子機】 アプリバックアップ（任意）

アプリの設定情報やアドレス帳などのバックアップを取得することができます。

バックアップを取得しておくことで、複合機の入替えなどが行われた場合にも迅速に設定復旧ができます。

バックアップは PC のブラウザを使用して本アプリへ接続することで実施できます。

【Web 管理者画面】 - 【設定バックアップ】

詳しい手順は本書の 9-1 章をご覧ください。

8-8. 【子機】（プロフェッショナル版のみ） アドレス帳登録（任意）

アドレス帳機能を使用する場合は、ファクス連携送信アドレス帳へ宛先を登録します。

【本アプリのファクス送信画面】 - 【管理者設定】 - 【ファクス連携送信アドレス帳】

詳しい登録方法は本書の 10 章をご確認ください。

以上で子機の初期設定は完了です。



KONICA MINOLTA

9. アプリ設定のバックアップ／リストア

本アプリの設定のバックアップ／リストア機能を備えています。

9-1. 設定バックアップ

PC のブラウザを使用して本アプリへ接続することで、設定のバックアップが可能です。

バックアップする設定は以下の通りです。

- アプリの管理者設定
- デフォルト送信設定
- ファクス連携送信アドレス帳に登録した宛先、グループ宛先（プロフェッショナル版のみ）

9-1-1 PC での管理者ログイン

PC のブラウザで下記 URL へアクセスし、複合機の管理者パスワードを入力してログインします。（事前に複合機の操作パネル上でアプリを起動し、利用規約へ同意しておく必要があります。）

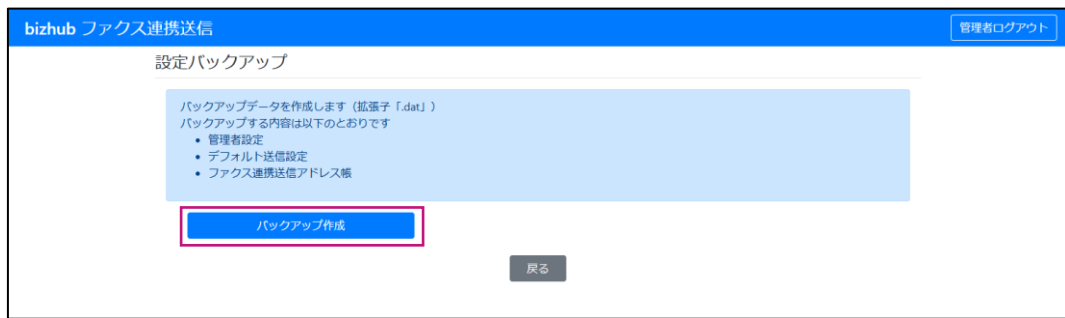
https:// <バックアップ元の複合機の IP アドレス> : <ポート番号（初期値：42443）>

本アプリの Web 管理者画面が表示されます。



9-1-2 設定バックアップ

[設定バックアップ] メニューを開きます。[バックアップ作成] をクリックすると、バックアップファイルを PC にダウンロードできます。



i ダウンロードしたバックアップファイルは、無くさないように保管ください。

9-2. 設定リストア

9-1 章で取得したバックアップデータをリストアします。

i **A3 複合機で取得したバックアップデータを A4 複合機へリストアすること（もしくはその逆）はできません。**

リストアすると、基本的には各設定が上書きされますが、以下の項目については上書きされません。

- ・ 新規ジョブ受付：停止となり、管理者がオンに変更するまで新規ジョブの受付を停止する（親機機能が有効の場合のみ）
- ・ 親機ポート番号：リストア前のポート番号を変更しない（親機機能が有効の場合のみ）
- ・ リモート接続用ポート番号：リストア前のポート番号を変更しない

9-2-1 アプリのインストール

リストア先の複合機に本アプリがインストールされていない場合は、先にインストールおよび初期設定、初回起動確認まで行います。手順は本書の 3 章～6 章をご参照ください。

9-2-2 リストア前の確認

リストア前に以下のことをご確認ください。

<親機でのリストア>

- ・ 自機で送信したジョブに実行中ジョブがないこと
- ・ 完了ジョブが子機と同期済であること
- ・ 新規ジョブ受付が停止されていること（設定方法は 11-1 章参照）

<子機でのリストア>

- ・ 自機で送信したジョブに実行中ジョブがないこと



KONICA MINOLTA

9-2-3 PC での管理者ログイン

PC のブラウザで下記 URL へアクセスし、複合機の管理者パスワードを入力してログインします。

https:// <リストア先の複合機の IP アドレス> : <ポート番号（初期値 : 42443）>

9-2-4 設定リストア

[設定リストア] メニューを開きます。リストアに使用するバックアップファイルを選択し、[リストア]をクリックすることで、アプリの設定をリストアできます。

9-2-5 アプリ管理者設定

リストア完了後、リストア先の複合機の操作パネルからアプリの管理者設定を開いて設定内容を確認・必要に応じて編集・登録します。

9-2-6 複合機再起動

リストア先の複合機でアプリの管理者設定の登録まで完了したら、複合機を再起動（主電源をオフ-オン）します。

9-2-7 新規ジョブ受付再開

リストア先の複合機が親機の場合、リストア後は新規ジョブの受付が停止されています。以下のメニューにて新規ジョブの受付を再開させてください。

[本アプリのファクス送信画面] - [管理者設定] - [管理者設定] - [新規ジョブ受付／停止切替]



10. <プロフェッショナル版のみ> ファクス連携送信アドレス帳

本アプリの「単一宛先」「複数宛先」「グループ宛先」タブを使用する場合は、予め「ファクス連携送信アドレス帳」の設定が必要です。

「ファクス連携送信アドレス帳」への宛先登録は、以下の2通りの方法があります。

ただし、グループ宛先の登録は複合機からのみ実施できます。

- ①複合機から実施・・・・・・・・・・10-1、10-2 章をご参照ください
- ②PC（Web ブラウザー）から実施・・・・・・10-3 章をご参照ください

10-1. 複合機上でのアドレス帳メンテナンス

本アプリの管理者設定内にて、アドレス帳への宛先登録や編集、削除が可能です。

[本アプリのファクス送信画面] - [管理者設定] - [ファクス連携送信アドレス帳]

	表示内容	説明
①	宛先登録	よく使う宛先をアドレス帳へ登録できます。
②	宛先一覧	アドレス帳に登録されている宛先を確認できます。
③	グループ宛先登録	①で登録した複数の宛先をグループ宛先として登録できます。
④	グループ宛先一覧	アドレス帳に登録されているグループ宛先を確認できます。

10-1-1 単一宛先登録（複合機から）

複合機の操作パネル上で、ファクス連携送信アドレス帳への宛先登録ができます。

各項目を入力し、完了したら [登録] ボタンを押すと宛先が登録されます。

[本アプリのファクス送信画面] - [管理者設定] - [ファクス連携送信アドレス帳] - [宛先登録]



KONICA MINOLTA

bizhub ファクス連携送信
管理者ログアウト

ファクス連携送信アドレス帳 宛先登録

* マークが表示されている項目は入力必須です
「宛先名ふりがな」は宛先を一覧表示する際のソート機能に使用します

宛先名*

宛先名ふりがな

常用（よく使う宛先） ☒

ファクス番号*

ファクス番号（確認）*

外線使用 ☒ 外線 ☐ 内線

回線設定：海外通信モード ☐

回線設定：V34 ☐

備考

戻る
登録

* マークが表示されている項目は入力必須です。

	表示内容	説明
①	宛先名 *	宛先の名称を入力します。（128 文字まで）
②	宛先名ふりがな	宛先名のふりがなを入力します。宛先一覧表示の際の並び替えのキーとして使用されます。（128 文字まで）
③	常用（よく使う宛先）	よく使う宛先の場合はオンにします。（初期値：オフ）
④	ファクス番号 *	ファクス番号を入力します。 入力可能文字種：半角数字 0～9、"*"（半角アスタリスク）、"# "（半角シャープ）
⑤	ファクス番号（確認） *	登録間違い防止のため、ファクス番号を再入力します。
⑥	外線使用	外線か内線かを選択します。
⑦	回線設定：海外通信モード	本宛先へのファクス送信時、海外通信モードを使用する場合はオンにします。
⑧	回線設定：V34	本宛先へのファクス送信時、スーパーG3 モードを使用する場合はオンにします。
⑨	備考	必要に応じて入力します。

10-1-2 単一宛先の確認/編集/削除（複合機から）

ファクス連携送信アドレス帳に登録された宛先を確認したり、編集/削除ができます。

[本アプリのファクス送信画面] - [管理者設定] - [ファクス連携送信アドレス帳] - [宛先一覧]



KONICA MINOLTA

bizhub ファクス連携送信
管理者ログアウト

ファクス連携送信アドレス帳 宛先一覧

No	宛先名	宛先名かな	常用	ファクス番号	外線	海外	V34	備考
	<input type="text" value="宛先名"/>	<input type="text" value="宛先名かな"/>		<input type="text" value="ファクス番号"/>				<input type="text" value="備考"/>
1	阿部株式会社	あべかぶしきがいしゃ	ON	0123456789	外線	ON	ON	ここに備考をかけます
2	井上株式会社	いのうえかぶしきが...	ON	0123456789	外線	ON	ON	ここに備考をかけます
3	加藤株式会社	かとうかぶしきがい...	OFF	0123456789	外線	ON	ON	ここに備考をかけます
4	株式会社池田	かぶしきがいしゃい...	ON	0123456789	外線	ON	ON	ここに備考をかけます
5	株式会社斎藤	かぶしきがいしゃさ...	ON	0123456789	外線	ON	ON	ここに備考をかけます
6	株式会社佐々木	かぶしきがいしゃさ...	ON	0123456789	外線	ON	ON	ここに備考をかけます

<最初 <前へ 1 2 次へ> 最後>

戻る
編集
詳細確認

<宛先の詳細確認>

詳細を確認したい宛先を選択し、[詳細確認] ボタンを押すと、詳しい登録内容を確認できます。

<宛先の編集/削除>

編集/削除したい宛先を選択し、[編集]ボタンを押すと、その宛先の編集画面が開きます。

- 宛先の編集：
各項目の内容を編集し、画面下部の [登録] ボタンを押すことで登録内容が更新されます。
- 宛先の削除：画面下部の赤い [削除] ボタンを押すとその宛先が削除されます。

10-2. 複合機上でのグループ宛先メンテナンス

グループ宛先の登録/編集/削除は、複合機上でのみ実施可能です。

10-2-3 アドレス帳へのグループ宛先登録

ファクス連携送信アドレス帳へグループ宛先を登録します。

[本アプリのファクス送信画面] - [管理者設定] - [ファクス連携送信アドレス帳] - [グループ宛先登録]

① グループ名の登録

グループ名を入力して [次へ] をタップします。

bizhub ファクス連携送信 管理者ログアウト

ファクス連携送信アドレス帳 グループ名入力

新規に作成するグループ名を入力して下さい

グループ名:

戻る 次へ

② グループ宛先へのアドレス登録

先ほど名称登録したグループ宛先の詳細画面が開きます。

[グループ編集] ボタンを押すと、グループ宛先編集画面に移行します。

グループ宛先に登録したい宛先にチェックを入れ、[登録] ボタンを押します。

bizhub ファクス連携送信 管理者ログアウト

ファクス連携送信アドレス帳 グループ宛先詳細

グループ名: 関西

現在選択されている宛先: 8件 (最大: 10)

No	宛先名	宛先名かな	常用	ファクス番号	外線	海外	v34	備考

メニューに戻る
一覧に戻る
グループ編集
グループ名変更
グループ削除

bizhub ファクス連携送信 管理者ログアウト

ファクス連携送信アドレス帳 グループ宛先編集

グループ名: コニカミノルタ

選択中のみ表示 ☐ 現在選択されている宛先: 2件 (最大: 10)

	宛先名	宛先名かな	ファクス番号	外線	海外	v34	備考	
<input type="checkbox"/>	株式会社青森	かぶしきがいしゃ...	0312345678	外線	OFF	ON		
<input type="checkbox"/>	株式会社佐々木	かぶしきがいしゃ...	0312345678	外線	OFF	ON		
<input type="checkbox"/>	株式会社高橋	かぶしきがいしゃ...	0312345678	外線	OFF	ON		
<input type="checkbox"/>	佐藤株式会社	さとうかぶしきがい...	0312345678	外線	OFF	ON		
<input checked="" type="checkbox"/>	清水株式会社	しみずかぶしきがい...	0312345678	外線	OFF	ON		
<input checked="" type="checkbox"/>	鈴木株式会社	すずきかぶしきがい...	45678	内線	OFF	ON		

戻る
登録

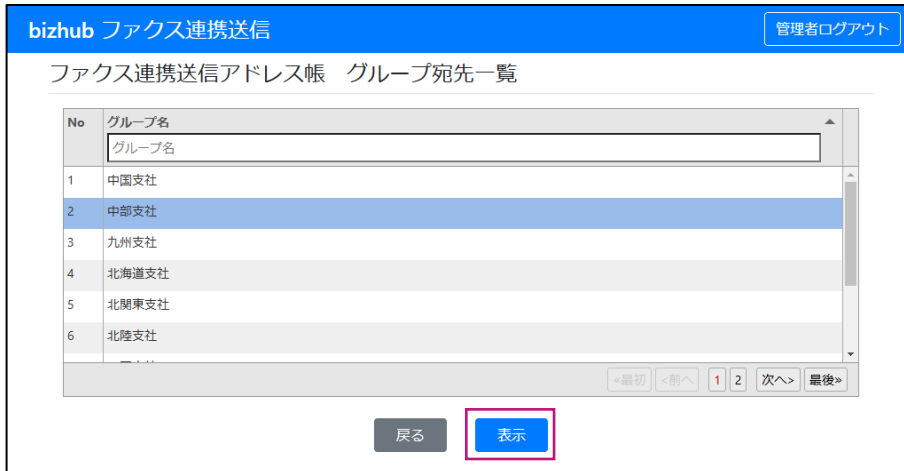
10-2-4 グループ宛先の確認/編集/削除

ファクス連携送信アドレス帳に登録されたグループ宛先を確認したり、編集/削除ができます。

[本アプリのファクス送信画面] - [管理者設定] - [ファクス連携送信アドレス帳] - [グループ宛先一覧]

① 対象のグループ宛先選択

確認/編集/削除したいグループ宛先を選択し、[表示] をタップします。



bizhub ファクス連携送信

管理者ログアウト

ファクス連携送信アドレス帳 グループ宛先一覧

No	グループ名
1	中国支社
2	中部支社
3	九州支社
4	北海道支社
5	北関東支社
6	北陸支社

戻る 表示

② グループ宛先詳細確認

そのグループに含まれる宛先情報を確認できます。



bizhub ファクス連携送信

管理者ログアウト

ファクス連携送信アドレス帳 グループ宛先詳細

グループ名: 関西

現在選択されている宛先: 8件 (最大: 10)

No	宛先名	宛先名かな	常用	ファクス番号	外線	海外	v34	備考
1	加藤株式会社	かとうかぶしがいい...	OFF	0123456789	外線	ON	ON	ここに備考をかけます
2	株式会社斎藤	かぶしがいいしゃさ...	ON	0123456789	外線	ON	ON	ここに備考をかけます
3	株式会社佐々木	かぶしがいいしゃさ...	ON	0123456789	外線	ON	ON	ここに備考をかけます
4	株式会社高橋	かぶしがいいしゃた...	OFF	0123456789	外線	ON	ON	ここに備考をかけます
5	鈴木株式会社	すずきかぶしがいい...	OFF	0123456789	外線	ON	ON	ここに備考をかけます
6	松本株式会社	まつもとかぶしが...	ON	0123456789	外線	ON	ON	ここに備考をかけます

メニューに戻る 一覧に戻る ① グループ編集 ② グループ名変更 ③ グループ削除

	表示内容	説明
①	グループ編集	このグループ宛先に含まれる宛先を編集するにはこちらをタップします。
②	グループ名変更	グループ宛先の名称を変更するにはこちらをタップします。
③	グループ削除	このグループ宛先を削除するにはこちらをタップします。

10-3. PC でのアドレス帳一括メンテナンス

PC のブラウザーを使用して本アプリへ接続することで、ファクス連携送信アドレス帳の一括ダウンロードおよび一括登録が可能です。

10-3-5 PCでの管理者ログイン

PCのブラウザで下記URLへアクセスし、複合機の管理者パスワードを入力してログインします。（事前に複合機の操作パネル上でアプリを起動し、利用規約への同意およびアプリの管理者設定を完了させておく必要があります。）

https:// <複合機のIPアドレス> : <ポート番号（初期値：42443）>

本アプリのWeb管理者画面が表示されます。



管理者設定メニュー

ファクス連携送信アドレス帳	※ファクス連携送信アドレス帳メニュー画面を表示します
アドレス帳内容確認	※本機のファクス連携送信アドレス帳に含まれる宛先内容を表示します
グループ宛先内容確認	※本機のファクス連携送信アドレス帳に含まれるグループ宛先内容を表示します
アプリログ	※アプリログメニュー画面を表示します
設定バックアップ	※設定バックアップ画面を表示します
設定リストア	※設定リストア画面を表示します

10-3-6 ファクス連携送信アドレス帳メニュー

[ファクス連携送信アドレス帳]を開くと、下記のメニューが表示されます。



ファクス連携送信アドレス帳メニュー

① 宛先一括ダウンロード	※ファクス連携送信アドレス帳 宛先一括ダウンロード画面を表示します ダウンロードしたファイルは宛先一括登録用のテンプレートとして使用できます
② 宛先一括登録	※ファクス連携送信アドレス帳 宛先一括登録画面を表示します

戻る

	表示内容	説明
①	宛先一括ダウンロード	ファクス連携送信アドレス帳に登録された宛先情報をCSVで一括ダウンロードできます。
②	宛先一括登録	CSVで宛先を一括登録できます。

10-3-7 宛先一括ダウンロード

本アプリの「ファクス連携送信アドレス帳」に登録されている宛先を一括ダウンロードします。登録宛先が1件もない場合は、ダウンロードしたファイルを宛先一括登録用のテンプレートとして使用できます。

[本アプリのWeb管理者画面] - [ファクス連携送信アドレス帳] - [宛先一括ダウンロード]

bizhub ファクス連携送信

管理者ログアウト

ファクス連携送信アドレス帳 宛先一括ダウンロード

ファクス連携送信アドレス帳に登録されている宛先をダウンロードします（拡張子「.CSV」）
登録されている宛先が1件もない場合はCSVのテンプレートをPCにダウンロードします

宛先一括ダウンロード

戻る

10-3-8 宛先一括登録

CSV による宛先一括登録が可能です。先に「宛先一括ダウンロード」にて CSV ファイルをダウンロードし、そのファイルへ宛先を追記/編集を行ってください。そのファイルをこちらの画面で登録してください。

 CSV の記載ルールは、本書の付録をご参照ください。

[本アプリの Web 管理者画面] - [ファクス連携送信アドレス帳] - [宛先一括登録]

bizhub ファクス連携送信

管理者ログアウト

ファクス連携送信アドレス帳 宛先一括登録

登録するCSVファイル

ファイルを選択してください

選択

戻る

一括登録

11. その他管理者メニュー

初期設定完了後、必要に応じてご利用いただくメニューです。

11-1. 新規ジョブ受付／停止切替

新規ジョブの受付を停止したり、再開したりする機能です。

運用開始後に親機・子機機能を切り替える場合やアプリ設定を初期化する場合に一時的に新規ジョブの受付を停止したり、リストア後にジョブ受付を再開したりするために使用します。

[本アプリのファクス送信画面] - [管理者設定] - [管理者設定] - [新規ジョブ受付／停止切替]

11-2. ジョブ表示（管理者用）

本アプリを使用して送信された全ユーザーのジョブを確認できます。

[本アプリのファクス送信画面] - [管理者設定] - [管理者設定] - [ジョブ表示（管理者用）]

bizhub ファクス連携送信								
								管理者ログアウト
ジョブ表示（管理者用）								
すべて		実行中	終了					
				ジョブ詳細				
No	宛先名	ファクス番号	頁	状態	ファクス登録日時	登録者	外線使用	識別ID（子機シリアル）
1		0312345679	1	実行中	2023/08/08 11:42:00	鈴木	OFF	AA2J001001127_01
2		0312345678	1	実行中	2023/08/08 11:40:00	斎藤	ON	AA2J001001127_01
3		0312345678	1	実行中	2023/08/08 11:38:00	鈴木	ON	AA2J001001127_01
4		0312345678	1	実行中	2023/08/08 11:37:00	鈴木	OFF	AA2J001001127_01
5		0312345678	1	実行中	2023/08/08 11:35:00	鈴木	OFF	AA2J001001127_01
6		0312345678	1	実行中	2023/08/08 11:34:00	鈴木	OFF	AA2J001001127_01
<div> 最初 前へ 1 2 3 4 5 次へ 最後 </div>								
<div>戻る</div>								

11-3. <親機のみ> 全ジョブ表示（管理者用）

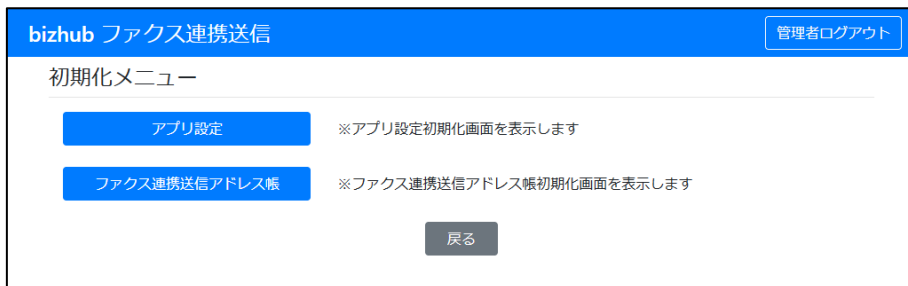
親機でのみ表示されるメニューです。親機配下の子機で実行されたジョブを含む、すべてのジョブを確認できます。

[本アプリのファクス送信画面] - [管理者設定] - [管理者設定] - [全ジョブ表示（管理者用）]

11-4. 初期化

本アプリの設定情報またはファクス連携送信アドレス帳を初期化できます。初期化を実行する際は、各初期化前に表示される注意事項をよくお読みください。

[本アプリのファクス送信画面] – [管理者設定] – [管理者設定] – [初期化]



	表示内容	説明
①	アプリ設定	アプリ設定を初期化する画面を表示します。
②	ファクス連携送信アドレス帳	ファクス連携送信アドレス帳を初期化する画面を表示します。

11-5. アプリログ

本アプリのログを確認できます。保守時にコニカミノルタがご案内した場合など必要に応じてご参照ください。

[本アプリのファクス送信画面] – [管理者設定] – [管理者設定] – [アプリログ]



KONICA MINOLTA

12. PC でのアプリログ一括取得

PC のブラウザを使用して本アプリへ接続することで、PC 上でアプリログの確認および一括取得（ダウンロード）が可能です。

12-1. PC での管理者ログイン

PC のブラウザで下記 URL へアクセスし、複合機の管理者パスワードを入力してログインします。（事前に複合機の操作パネル上でアプリを起動し、利用規約へ同意しておく必要があります。）

https:// <複合機の IP アドレス> : <ポート番号（初期値 : 42443） >

本アプリの PC 管理者画面が表示されます。



12-2. PC でのアプリログ表示

PC 上でアプリログを表示します。

[本アプリの PC 管理者画面] – [アプリログ] – [アプリログ表示]

12-3. アプリログ一括取得（ダウンロード）

アプリログを zip 形式でダウンロードします。（本機能は PC ブラウザーからのみ使用できます。）

[本アプリの PC 管理者画面] – [アプリログ] – [アプリログ取得]



KONICA MINOLTA

13. ファクス送信方法

ファクスの送信方法は、別紙の簡易利用ガイドも併せてご参照ください。

13-1. ファクス送信画面の構成

	表示内容	説明
①	ジョブ表示ボタン	本アプリを使用して送信したジョブの履歴を表示します。
②	アプリ情報ボタン (i)	本アプリのバージョン情報などを表示します。
③	管理者設定ボタン	本アプリの管理者設定を開きます。
④	ファクス宛先設定画面	ファクス宛先の設定を行う部分です。以下の4つのタブがあります。(スタンダード版ではテンキーのみ利用可能) ・テンキー ・単一宛先 ・複数宛先※ ・グループ宛先※ ※アプリの管理者設定にて同報送信機能がオンの場合のみ表示されます。
⑤	送信設定	ファクスジョブに関する設定です。 ※読み込みサイズおよび読み込み向きは、自動判定ではありません。 ※親機の FAX 回線が PBX 接続の場合、外線発信する場合は必ず「外線使用」をオンにしてください。
⑥	スタート	親機へのファクスジョブの送信を開始します。

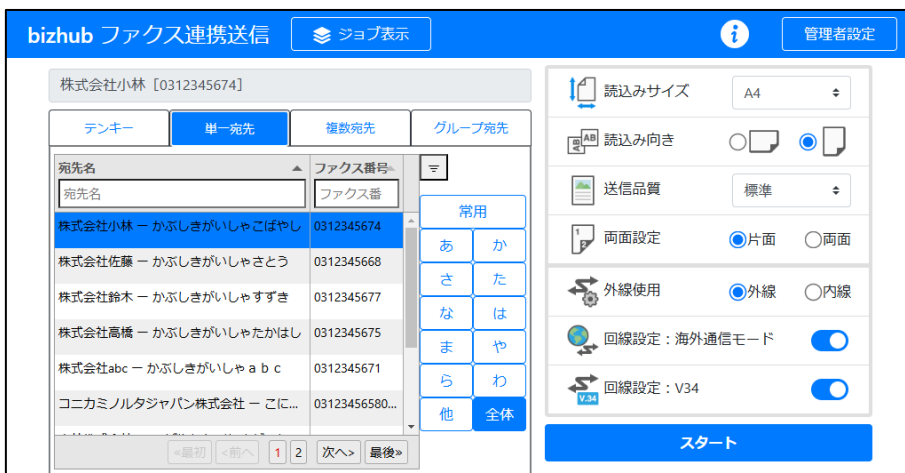
The screenshot shows the 'bizhub ファクス連携送信' (bizhub Fax Connection) screen. The interface includes a top navigation bar with buttons for 'ジョブ表示' (Job Display) and '管理者設定' (Admin Settings). The main area is divided into two sections. The left section, labeled ④, contains a 'テンキー' (Keypad) tab with a numeric keypad and a 'グループ宛先' (Group Destination) tab. The right section, labeled ⑤, contains various settings: '読み込みサイズ' (Load Size) set to A4, '読み込み向き' (Load Orientation) set to portrait, '送信品質' (Transmission Quality) set to Standard, '両面設定' (Two-Sided Setting) set to '片面' (One-sided), '外線使用' (Outside Line Use) set to '内線' (Internal line), and '回線設定' (Line Setting) set to '海外通信モード' (International communication mode) and 'V34'. A 'スタート' (Start) button is at the bottom right, labeled ⑥. Callouts ①, ②, and ③ point to the 'ジョブ表示', 'アプリ情報', and '管理者設定' buttons respectively.

13-2. ファクス送信方法（テンキータブ）



- ① 自動原稿送り装置 もしくは 複合機ガラス面に原稿をセットします。
- ② テンキーで送信先のファクス番号を入力します。
- ③ 必要に応じて右側の送信設定を変更します。
 ※ 読み込みサイズおよび読み込み向きは自動判定ではありませんので都度ご確認ください。
 ※ 親機の FAX 回線が PBX 接続の場合、外線発信する場合は必ず「外線使用」をオンにしてください。
- ④ スタートボタンを押すと、親機へのジョブ送信が開始されます。
- ⑤ 送信後 [ジョブ表示] ボタンを押すと、送信結果の確認や、実行中ジョブのキャンセルが可能です。

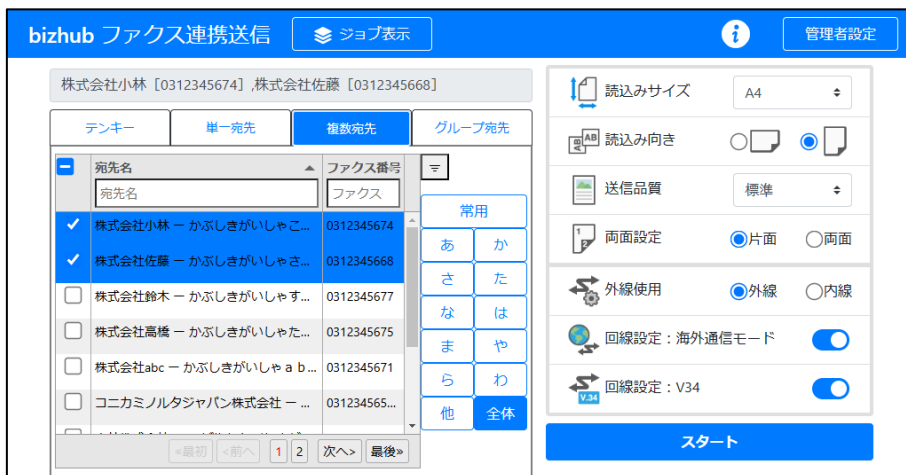
13-3. ファクス送信方法（単一宛先タブ）



- ① 自動原稿送り装置 もしくは 複合機ガラス面に原稿をセットします。

- ② [単一宛先] タブを選択します。
※ アプリの管理者設定にて、[単一宛先] タブをデフォルト表示させるよう設定することも可能です。
- ③ 送信したい宛先をアドレス帳から選択します。
※ 画面真ん中のインデックスを使用すると、常用の宛先やあ行、か行などの特定の宛先に絞りこめます。
※ 検索バーにて検索も可能です。
- ④ 必要に応じて右側の送信設定を変更します。
※ 読み込みサイズおよび読み込み向きは自動判定ではありませんので都度ご確認ください。
※ 親機の FAX 回線が PBX 接続の場合、外線発信する場合は必ず「外線使用」をオンにしてください。
- ⑤ スタートボタンを押すと、親機へのジョブ送信が開始されます。
- ⑥ 送信後 [ジョブ表示] ボタンを押すと、送信結果の確認や、実行中ジョブのキャンセルが可能です。

13-4. ファクス送信方法（複数宛先タブ）



bizhub ファクス連携送信 [ジョブ表示] 管理者設定

株式会社小林 [0312345674] 株式会社佐藤 [0312345668]

テンキー	単一宛先	複数宛先	グループ宛先
<div>宛先名</div> <div>宛先名</div> <div>株式会社小林 - かぶしきがいしゃこ...</div> <div>株式会社佐藤 - かぶしきがいしゃさ...</div> <div>株式会社鈴木 - かぶしきがいしゃす...</div> <div>株式会社高橋 - かぶしきがいしゃた...</div> <div>株式会社abc - かぶしきがいしゃ a b ...</div> <div>コニカミノルタジャパン株式会社 - ...</div>			
<div>ファクス番号</div> <div>ファクス</div> <div>0312345674</div> <div>0312345668</div> <div>0312345677</div> <div>0312345675</div> <div>0312345671</div> <div>031234565...</div>			
<div>常用</div> <div>あ か</div> <div>さ た</div> <div>な は</div> <div>ま や</div> <div>ら わ</div> <div>他 全体</div>			

読み込みサイズ: A4

読み込み向き: ☐ 縦 ☒ 横

送信品質: 標準

両面設定: ☒ 片面 ☐ 両面

外線使用: ☒ 外線 ☐ 内線

回線設定: 海外通信モード ☒

回線設定: V34 ☒

スタート

- ① 自動原稿送り装置 もしくは 複合機ガラス面に原稿をセットします。
- ② [複数宛先] タブを選択します。
- ③ 送信したい宛先をアドレス帳から選択します（複数選択可）。
※ 選択時は、左のチェックボックスをタップしてください。
※ 画面真ん中のインデックスを使用すると、常用の宛先やあ行、か行などの特定の宛先に絞りこめます。
※ 検索バーにて検索も可能です。



KONICA MINOLTA

- ④ 必要に応じて右側の送信設定を変更します。
 - ※ 読み込みサイズおよび読み込み向きは自動判定ではありませんので都度ご確認ください。
 - ※ 親機の FAX 回線が PBX 接続の場合、外線発信する場合は必ず「外線使用」をオンにしてください。
- ⑤ スタートボタンを押すと、親機へのジョブ送信が開始されます。
- ⑥ 送信後 [ジョブ表示] ボタンを押すと、送信結果の確認や、実行中ジョブのキャンセルが可能です。

13-5. ファクス送信方法（グループ宛先タブ）

bizhub ファクス連携送信

ジョブ表示

管理者設定

【ABC】 山田株式会社, 【ABC】 株式会社abc, 【ABC】 XYZ株式会社, 【A...

デスキー 単一宛先 複数宛先 **グループ宛先**

グループ宛先名
グループ宛先名

ABC
XYZ
abc
xyz
.
.

読み込みサイズ A4

読み込み向き ☐ 横置き ☒ 縦置き

送信品質 標準

両面設定 ☒ 片面 ☐ 両面

外線使用 ☐ 外線 ☒ 内線

回線設定: 海外通信モード ☒

回線設定: V34 ☐

スタート

- ① 自動原稿送り装置 もしくは 複合機ガラス面に原稿をセットします。
- ② [グループ宛先] タブを選択します。
- ③ 送信したいグループ宛先を選択します。
 - ※グループ宛先に含まれるすべての宛先へ送信します。宛先個別にオン／オフはできません。
- ④ 必要に応じて右側の送信設定を変更します。
 - ※ 読み込みサイズおよび読み込み向きは自動判定ではありませんので都度ご確認ください。
 - ※ 親機の FAX 回線が PBX 接続の場合、外線発信する場合は必ず「外線使用」をオンにしてください。
- ⑤ スタートボタンを押すと、親機へのジョブ送信が開始されます。
- ⑥ 送信後 [ジョブ表示] ボタンを押すと、送信結果の確認や、実行中ジョブのキャンセルが可能です。



KONICA MINOLTA

14. 留意事項/制限事項

本アプリの留意事項と制限事項です。ご使用前にご確認ください。

■bizhub ファクス連携送信 留意事項

項目	留意事項
ファクス回線等の設定	・ 本アプリを使用してファクス送信を行う際、ファクス回線等の設定は親機の複合機本体での設定に従います。
画像品質	・ 本アプリを使用してファクス送信した場合、複合機本体からファクス送信した場合と比べて画像品質に若干の差異が生じます。
PBX 接続時のファクス送信	・ 本アプリでは、トーンおよびポーズを使用することはできません。 ・ 親機の複合機が PBX に接続されている場合、親機の複合機本体の [PBX 接続設定] を予め設定してください。子機のアプリ上でファクス送信を行う際に [外線使用] をオンにすると、親機の複合機本体の [PBX 接続設定] で設定されている外線番号を付加して送信します。親機の複合機本体で外線番号が設定されていない場合、エラーとなります。 ・ 親機の複合機が PBX 配下にあるにもかかわらず、親機側で [PBX 接続設定] を行わず、かつその環境下の子機の本アプリから外線特番 + 相手側 FAX 番号 を直接入力して FAX 送信すると、意図しない相手に接続する可能性があります。
時刻同期	・ 親機の複合機と子機の複合機の時刻は合わせてください。NTP 等を使用して時刻を自動補正することを推奨します。
送信結果レポートの出力	・ 本アプリでは、ファクス送信を行った子機で送信結果レポートを出力します（設定によりオフも可能）。 ・ 親機の複合機本体で送信結果レポートを出力するように設定している場合、子機からファクスを送信した場合も親機の複合機本体の送信結果レポートが出力されます。 ・ 送信結果レポートは A4 用紙を使用して出力するため、複合機本体に A4 用紙をセットしておく必要があります。
複合機開放ポート	・ 本アプリでは、複合機の開放ポートを 1 ポート使用します。同一複合機内で開放ポートを使用する他のアプリと共存させる場合は、他アプリと開放ポートが競合しないように空きポートがあることを事前に確認してください。
RAW ポート	・ RAW ポートの競合を防ぐため、本アプリで使用する RAW ポートは他の用途に使用しないでください。尚、本アプリで使用する RAW ポート番号は、管理者設定画面で変更可能です。



KONICA MINOLTA

	<ul style="list-style-type: none"> ・親機の複合機の RAW ポートが競合した場合、以下のいずれかの事象が発生します。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ ファクスジョブ登録がエラーとなり、子機にファクス送信失敗が通知されます。ファクス送信結果は、送信結果レポート、またはジョブ一覧画面で確認可能です。宛先にファクスが届いているか確認の上、必要な場合は再送信を行ってください。 ➢ ファクスジョブ登録に時間がかかります。「ファクス送信ジョブが親機へ正しく登録できなかった可能性があります」というメッセージが出力された場合は、ジョブ一覧画面で確認してください。エラー終了となった場合は、宛先にファクスが届いているか確認の上、必要な場合は再送信を行ってください。
PC ブラウザーからの管理者ログイン	<ul style="list-style-type: none"> ・複数人が同一複合機に対して同時に接続することはできません。
ファクス連携送信アドレス帳のグループ宛先	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ宛先では常用ボタンは実装しておりません。 ※グループ宛先には半角数字を入力することができるため、例えば最初の 1 文字目に半角数字を設定することで一覧の前方に表示することが可能です。 ・グループ宛先は、そのグループに所属する宛先が 1 件もなくなると自動削除されます。 ・ファクス送信設定（外線使用、回線設定（海外通信）、回線設定（V34））の設定値が異なる宛先を同一グループ宛先に所属させることはできません。 ・既存のグループ宛先編集時に、所属するすべての宛先の選択を一旦解除し、新たな宛先を選択し直す場合も、以前の宛先と異なるファクス送信設定の宛先を選択することができません。この場合は、一旦グループ宛先を削除し、同一グループ宛先名で新規にグループ宛先を登録してください。
設定リストア（親機）	<ul style="list-style-type: none"> ・親機でバックアップファイルから設定をリストアする前に、以下の確認を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> - 自機で送信したジョブに実行中ジョブがないこと - 完了ジョブが子機と同期済であること - 新規ジョブ受付が停止されていること
設定リストア（子機）	<ul style="list-style-type: none"> ・子機でバックアップファイルから設定をリストアする前に、以下の確認を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> - 自機で送信したジョブに実行中ジョブがないこと

■ bizhub ファクス連携送信 制限事項

項目	制限事項
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・親機と子機は同一拠点内 LAN に接続する必要があります。



KONICA MINOLTA

複合機の排他オプション	<ul style="list-style-type: none">・ イメージコントローラーIC-420/セキュリティーキット SC-509/KAKIN くんを装着している複合機では、本アプリを使用できません。
システムアカウントに関する制限	<ul style="list-style-type: none">・ 本アプリの管理者設定で設定したシステムアカウントには、複合機本体の管理者権限を付与しないでください。・ 本アプリの管理者設定で設定したシステムアカウントを他の用途には使用しないでください。・ 外部サーバーに登録したアカウントを本アプリのシステムアカウントに設定する場合は、複合機で登録する外部認証サーバー名称に半角ハイフン ("-"), 半角アンダースコア ("_") を除く半角記号は使用できません。
削除したユーザーのジョブ表示に関する制限	<ul style="list-style-type: none">・ 複合機本体で認証方式の変更やユーザーを削除しても、連動してアプリのジョブ情報は削除されません。・ 複合機で、削除したユーザーのインデックス No に同じユーザー名で新たなユーザーを登録した場合、本アプリでは削除したユーザーと新たに登録したユーザーを区別することができません。<ul style="list-style-type: none">➤ 一般ユーザーの終了ジョブ表示期限内（7 日間）に上記操作を行うと、新たに登録したユーザーが過去の利用者の終了ジョブを閲覧することができます。・ 実行中ジョブには表示期限がないため、実行中ジョブが残っていると、新たに登録したユーザーが過去の利用者のジョブを閲覧・削除することができます。
親機の複合機本体へ管理者ログイン中のファクス送信に関する制限	<ul style="list-style-type: none">・ 親機の複合機本体に管理者ログイン中 または サービスモード中に、子機のアプリからファクス送信した場合、ファクス送信ができない場合があります。・ ファクスの送信結果は、送信結果レポート、またはジョブ一覧画面で確認可能です。宛先にファクスが届いているか確認の上、必要な場合は再送信を行ってください。



KONICA MINOLTA

15. 付録

15-1. 主な仕様

項目		仕様
ファクス送信可能な原稿サイズと向き		A3 機 : A3□、A4□、A4□、A5□、A5□、 B4□、B5□、B5□ A4 機 : A4□、A5□、A5□、B5□
親機 1 台に対する子機接続最大台数		スタンダード版 : 1 台 プロフェッショナル版 : 6 台
1 回にファクス送信できる最大ページ数		原稿サイズが A4 以下の場合 : 30 ページ 原稿サイズが A4 を超える場合 : 20 ページ
ジョブ数	子機が保持する最大実行中ジョブ数	20 件
	子機が保持する最大終了ジョブ数	600 件
	親機が保持する最大実行中ジョブ数	100 件
	親機が保持する最大終了ジョブ数	1,400 件
ログ	1 ジョブ当たりのログサイズ	約 4~8KB
	ログ保持期間	約 1 カ月間 ※ログレベル : INFO で 1 日に約 100 宛先に送信した場合 (ログレベルを変更すると、保持期間が変わります)。
複合機の対応認証方式		認証しない / 本体装置認証 / 外部サーバー認証

15-2. 対象機種とファームウェア

区分	対象機種	対象ファームウェア	親機	子機
カラー機	bizhub C751i / C651i / C551i / C451i / C361i / C301i / C251i	機能バージョン 2.3 GG6-RE (固定)	○	○
	bizhub C750i / C650i / C550i / C450i / C360i / C300i / C250i	機能バージョン 2.3 GG6-RE (固定)	○	○
	bizhub C450iS / C360iS / C300iS / C250iS	機能バージョン 2.3 GG6-RE (固定)	○	○
	bizhub C287i	機能バージョン 2.3 GG6-RE (固定)	—	○
	bizhub C4051i	機能バージョン 2.3 GG6-RE (固定)	—	○
	bizhub C4050i	機能バージョン 2.3 GG6-RE (固定)	—	○
モノクロ機	bizhub 751i / 651i / 551i / 451i / 361i / 301i	機能バージョン 2.3 GG6-RE (固定)	○	○
	bizhub 750i / 650i / 550i / 450i / 360i / 300i	機能バージョン 2.3 GG6-RE (固定)	○	○



KONICA MINOLTA

	bizhub 4051i	機能バージョン 2.3 GG6-RE (固定)	—	○
	bizhub 4050i	機能バージョン 2.3 GG6-RE (固定)	—	○

15-3. アドレス帳一括登録用 CSV ファイルについて

15-3-1 CSV ファイルの記載ルール

Web 管理者画面の [宛先一括ダウンロード] にて取得した CSV ファイルをテンプレートとして、宛先一括登録用の CSV ファイルを作成します。

ダウンロードした CSV ファイルの 1、2 行目はヘッダー行となるため、削除しないでください。3 行目以降に下記のルールで宛先情報を記載してください。

列 No.	列名	項目	説明	必須	入力規則
1	del	削除フラグ	この宛先を削除する場合は入力規則欄に記載した文字を指定	—	<ul style="list-style-type: none"> 入力可能文字：1文字 (d D d Dのみ許容)
2	dest_name	宛先名	宛先名称	○	<ul style="list-style-type: none"> 入力可能文字数：128文字まで 入力可能文字種：全角文字、半角英数字、半角カナ
3	dest_namekana	宛先ふりがな	宛先名ふりがな	—	<ul style="list-style-type: none"> 入力可能文字数：128文字まで 入力可能文字種：全角ひらがな、全角英数字
4	favorite	常用	常用 (よく使う宛先) フラグ	—	<ul style="list-style-type: none"> 入力可能文字：1文字 (a A a Aのみ許容)
5	faxno	ファクス番号	ファクス番号	○	<ul style="list-style-type: none"> 入力可能文字数：20文字 入力可能文字種：半角数字、"*"、"#"
6	outside_line	外線使用	外線使用 OFF/ON 情報 (ON：外線/ OFF：内線)	— ※NULLの場合はデフォルト送信設定の値をセット	<ul style="list-style-type: none"> 入力可能文字：ON OFF on off
7	oversea	回線設定: 海外通信モード	海外通信モード OFF/ON 情報	— ※NULLの場合はデフォルト送信設定の値をセット	<ul style="list-style-type: none"> 入力可能文字：ON OFF on off
8	v34	回線設定: V34	V34機能 (スーパー G3機能) OFF/ON 情報	— ※NULLの場合はデフォルト送信設定の値をセット	<ul style="list-style-type: none"> 入力可能文字：ON OFF on off



KONICA MINOLTA

9	note	備考	管理者によるメモ、備考記載用	—	<ul style="list-style-type: none"> 入力可能文字数：256文字まで 入力可能文字種：全角文字、半角英数字、半角カナ
10	uuid	UUID（アドレス帳用）	アドレス帳内でユニークな Key	—	<ul style="list-style-type: none"> 新規追加時：NULL 変更、削除時：変更不可

15-3-2 CSV ファイルの作り方

処理	列名
追加	<ul style="list-style-type: none"> 1 行 1 宛先で追加 必須以外の列は値を入力しなくてもよいが、列を区切る","（カンマ）は必須
変更	<ul style="list-style-type: none"> 変更対象宛先の列の値を変更する。変更しない列の値はそのままにする uuid は変更不可
削除	<ul style="list-style-type: none"> 削除対象宛先の 1 列目に削除フラグを指定する uuid は変更不可

15-3-3 CSV ファイルを作成する上での注意事項

- CSV ファイル内に同一の UUID を含めることはできません。
- CSV ファイル内に同一の宛先名を含めることはできません。
- アプリのファクス連携送信アドレス帳と CSV ファイルを宛先毎（1 行毎）に比較し、変更がない場合にはファクス連携送信アドレス帳を更新しません。（変更する宛先のみ差分ファイルでも、変更しない宛先を含む全体ファイルでも処理することができます。）
- CSV ファイルでの宛先一括登録における「登録できる宛先数」の算出には、同一 CSV ファイル内で指定した削除データの件数は考慮されません。
（例）既にアドレス帳に 1,900 件登録されている場合、CSV ファイルで 100 件削除して 200 件追加するとエラーとなります。この場合は、CSV ファイルを削除用と追加用に分割し、まず 100 件を削除し、その後、200 件を追加してください。

15-4. トラブルシューティング

15-4-1 ファクス原稿のスキャンが実行中のままになってしまう

ファクス送信する原稿をスキャンする際に、アプリ画面の応答が返ってこなくなる場合があります。この事象が発生した場合は、以下の手順で復旧させてください。

- ① 複合機本体のホームボタンを押してアプリを終了する



KONICA MINOLTA

- ② アプリアイコンからアプリを起動する
 - ③ 複合機の再起動を促すメッセージが表示された場合は、複合機を再起動する
 - ④ 複合機が起動したら、再度アプリを起動し、ジョブ情報画面でジョブ状態を確認する
- ※ジョブがエラー終了となっている場合は、ファクスを再送する